

地域学校協働連携NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

「提言政策説明会」

～ 県立只見高等学校 ～

1月14日(火)、県立只見高等学校の「提言政策説明会」を訪問しました。この説明会は、3年生がこれまで総合的な探究の時間で積み重ねてきた学習の総まとめとして位置付けられ、広く町民の皆さんにも公開されました。この会の目的は、「『10年後の只見町をより住みよくする』観点で考え出した高校生の各政策案を関係者や町民に説明して指導助言を仰ぎ、案の改善を図ること」にあります。当日は6つのグループに分かれた高校生が、自分たちで考えた提言政策を発表し、その後質疑応答を行う形で進められていました。会場となった只見公民館には、町関係者だけでなく、町民も多く駆けつけ、高校生の提言に真剣に耳を傾けるだけでなく、町の未来について熱く語り合う町民の姿が見られました。



多くの地域の皆さんが参加されていました

只見高校3年生による各課への提言政策の概要

<町民生活課>	雪質データセンターと卒業生ネットワーク構築による町の活性化
<交流推進課>	交流人口増加のための 町による町出身者への仕事依頼
<総務企画課>	山村留学・地域みらい留学制度と情報発信の充実
<保健福祉課>	健康寿命延長に向けた各教室・講座参加者の獲得
<農林建設課>	地域資源である広葉樹の炭活用と「かじごやき」体験
<教育委員会>	子育てしやすいまちづくりに向けた地域交流会の実施



提言政策を発表する生徒達

課題：町の人口減少

- 山村留學生制度の充実・満足度の向上
- 地域みらい留学制度 情報発信の改善と充実

- 合宿型スポーツイベント開催で学校をPR。現有施設の活用

- 山村留學生の生の声を聞く
- アンケート実施



教育長さんも発言されていました

山村留學生制度についてはこれまでもPRしてきましたが、……。とても参考になりました。

生徒達による各班の提言を聞いて、共通していたのは情報発信についてです。そこが課題であり、ポイントでもありました。(参加者感想)



役場担当者の助言・感想

町の方々の話を聞いて自分たちだけでは気付かなかったところに気付くことができました。私たち高校生の意見を真剣に聞き、答えていただいて嬉しかったです。(生徒感想)



校長先生による総括

提言政策説明会には、3学年の進学コースを除く教養コースの生徒約24名が参加し、これまでの学習を通してまとめた提言政策の概要を発表していました。聞く側には、町長をはじめ、副町長、教育長、町議会議員、町役場各課職員だけでなく、一般町民の姿もありました。会場は幅広い年齢層の参加者で構成されていましたが、発表する側にも聞く側にも共通していたのは「10年後の只見町をよりよくするために」という熱い思いだったと思います。

訪問を通じて、高校生と町民が町の将来について語り合う素敵な実践を見ることができました。これは、県で目指している「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」にも繋がっている取組であることを感じました。